

ユニット 6

ふるさとに生きる：人と人をつなぐ架け橋

このユニットで考えること (Essential Questions)

人々にとってふるさととは何か、どういう意味を持つのか、また人々はどのようにふるさとと関わって生きていくのか。

What is *furusato* and what does it mean to many people? What does it take for a place to be one's *furusato*? How do people relate to their *furusato* and carry on with their lives?

はじめに

- みなさんはどこで生まれて、どこで育ちましたか。そこはどんなところですか。地理的な場所としてどんなところか、またそこで自分が誰とどんなことをしてきたかについてグループで話し合ってください。
- 今でも同じ場所に住んでいますか。もしそうなら、その場所にこれからも住み続けたいと思いますか。なぜですか。もし今は違う場所に住んでいるのなら、生まれ育った場所についてどんな気持ちを持っていますか。例えば、またそこに行ってみたいと思いますか。または、そこに将来住みたいと思いますか。それはなぜですか。
- 自分が生まれ育った場所を日本語では「ふるさと」と言いますが、「ふるさと」の意味は地理的、空間的くうかんなものだけではありません。このユニットではそれを考えていきます。
 - これから石川啄木という有名な歌人（詩人）の短歌を3つ読みます。
 - 次の漢字の正しい読み方とその意味を線をつないでください。いくら考えても分からない場合は、辞書を使ってもかまいません。

a. 訛り	•	•	ばれいしょ	•	•	「駅」の古い言い方
b. 停車場	•	•	みやこ	•	•	たくさんの人がいて込み合っていること
c. 人ごみ	•	•	なまり	•	•	人の集まる大きい町
d. 馬鈴薯	•	•	うすむらさき	•	•	ジャガイモ
e. うす紫	•	•	ていしやば	•	•	ラベンダー色
f. 都	•	•	ひとごみ	•	•	ひょうじゅんご <small>はつおん</small> 標準語の発音とは違う、 その地方の特別な発音

3.1.2. 石川啄木は明治時代の歌人です。今の短歌は現代の言葉で書くことも多いですが、明治時代には文語体ぶんごたいで書かれたものがほとんどでした。石川啄木の短歌にも文語体がたくさん入っています。まずその短歌を読み、その意味を考えてみてください。

- a. ふるさとの訛りなつかし
 停車場の人ごみの中に
 そを聴ききにゆく
- b. ふるさとの山にむかいて言うことなし
 ふるさとの山はありがたきかな
- c. 馬鈴薯のうす紫の花に降る
 雨を思えり 都の雨に

3.1.3. これらの短歌の中に出てくる、文語の言葉の現代の口語は次の通りです。この口語訳を当てはめながら、3つの短歌をもう一度読んでください。そして、それぞれの短歌を話し言葉で言ってみてください。それぞれに、ふるさとに対するどのような気持ちが込められていると思いますか。グループで話し合ってみましょう。

文語	口語
なつかし	なつかしい
そ	それ
むかいて	むかって
なし	ない
ありがたきかな	ありがたいなあ
思えり	思った

3.1.4. 石川啄木はどこでこれらの短歌を詠よんだと思いますか。どうしてそう思いますか。

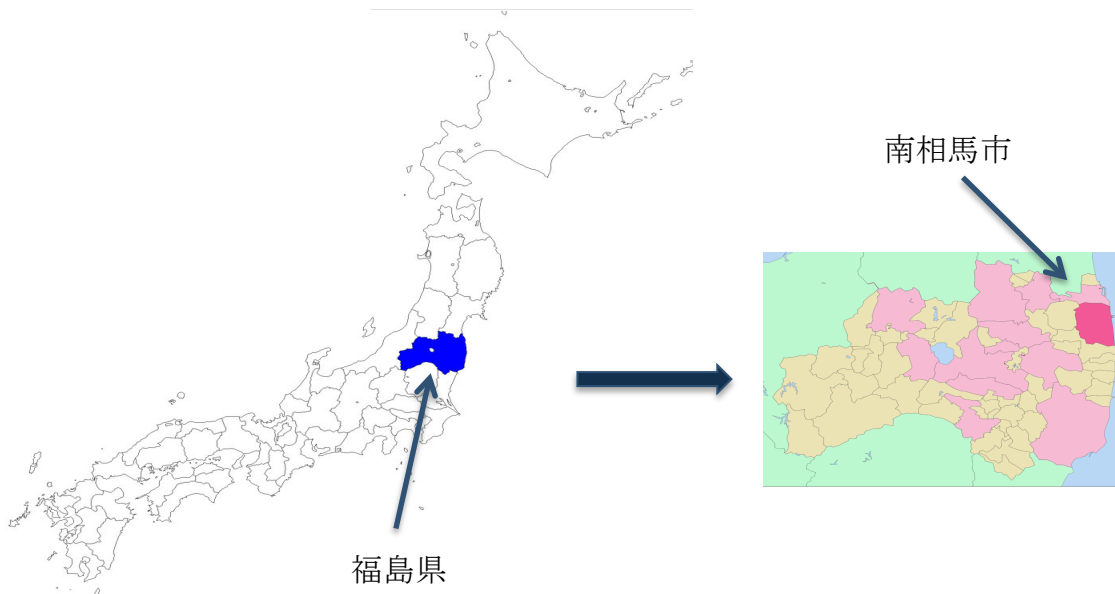
- a.
- b.
- c.

3.1.5. みなさんは、ふるさとを離はなれたら、石川啄木のような気持ちになるとと思いますか。

パート1 医師 高橋亨平さんの生き方に学ぶ

I. 読む前に

1. これから、福島県南相馬市^{みなみそうま}の医師、高橋亨平さんについてのブログ記事を読みます。その前に、南相馬市について学びます。
- 1.1. この地図のピンクのところ^{みなみそうま}が南相馬市です。南相馬市は東日本大震災でどのくらいの被害を受けたと思いますか。どうしてそう思いますか。ペアで話し合ってください。



- 1.2. 南相馬市が震災で受けた被害について書かれたウェブサイトを3つ以上読んで、どんな被害があったか、メモをとり(宿題)、グループで下の表を完成させてください。ウェブサイトは、日本語で読める人は3つとも日本語、読むのが大変な人は英語でかまいません。自分で検索して記事を選んでもいいですが、以下のサイトを使ってもかまいません。
 - 南相馬市災害記 <http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/10,15930,c.html/15930/03.pdf>
 - 南相馬ソーラー・アグリパーク <http://minamisoma-solaragripark.com/minamisoma#then>
 - No more nuclear <http://nomoreuclear.net/before/> (<http://nomoreuclear.net/en/after/>)
 - 南相馬市ふるさと回帰支援センター <http://www.msouma-furusato.jp/iju/qa.html>
 - <http://tokyopastpresent.wordpress.com/2013/04/23/福島第一原発事故による福島県民の避難者数と福/>
 - http://en.wikipedia.org/wiki/Minamisōma,_Fukushima
 - Fukushima Diary <http://fukushima-diary.com/tag/minamisoma-city/>

震災の被害について書き入れてください。	
被害のタイプ	被害の様子 <small>ようす</small>
地震	
津波	
原発	
震災前と後、現在を比べると、人口はどのように変わりましたか。それはなぜだと思いますか。	
人口	変化の理由
震災前：	_____
震災後：	
現在：	

2. 読み物の中に出てくる言葉を見てみましょう。

2.1. 次の言葉の中で知っているものを線で消してください（例：夫学）。知らないものは、（ ）の中のヒントを読んで、意味を推測して書いてください。できれば読み方も考えましょう。意味が推測できない言葉や、自信のないものは、グループで話し合ったり、辞書で調べたりしてください。

- a. 医師 （医：病気を治すこと、治す人； 師：先生、手本となる人）＝
- b. 産婦人科医 （産：うむ、うまれる； 婦：女）＝
- c. 診療 （診：見る、病状をしらべる； 療：病気を治す）＝
- d. 意志 （意：思う、考える； 志：こころざす、目標を目指して動く）＝
- e. 裏腹 （裏：うらがわ、うちがわ； 腹：おなか、こころ、考え）＝
- f. 病魔 （魔：魔王（まおう）、ばけもの）＝
- g. 表彰 （彰：あらわす、あらわれる）＝
- h. 授与 （授：さずける、さずかる； 与：あたえる）＝

2.2. 上の言葉を医療に直接関係のある言葉とない言葉に分けてください。

関係ある言葉	
関係ない言葉	

- 2.3. 適切な言葉を 2.1 のリストから選んで次の文の中に入れてください。同じ言葉を 2 回使ってもいいです。
- 何年も_____と戦ったが、残念なことに亡くなってしまった。
 - 一生懸命勉強したので、特別奨学金とくべつしょうがくきんを_____された。
 - 今、日本は_____不足が問題だ。特に、一日中、時間に関係なく仕事がある_____は人気がない。
 - 卒業式では、「卒業証書」を_____される。
 - 日米関係に貢献したので、ある民間団体から_____された。
 - この病院の_____時間は午前 9 時から午後 3 時までだ。
 - 強い_____を持って頑張れば何でもできると言われるが、本当だろうか。

II. 読んでみよう

1. 初めから段落 6 の終わりまでを一度ざっと読んでください。

段落	2013 年 2 月 11 日
	医師 高橋亨平さんの生き方に学ぶ
1	先月 22 日、ひとりの医師が亡くなりました。その名を高橋亨平（きょうへい）さんと言います。高橋さんは、昭和 46 年から現在の福島県南相馬市で産婦人科医として働いてきた方で、取り上げた赤ちゃんは 1 万人を超えるというベテラン医師でした。
2	高橋さんは 2 年前の震災後、多くの市民が避難し、多くの医師がいなくなった南相馬市で「やり残したことがある、自分のやれることをやらなければ」と地元に残って、専門以外の科目にわたって、残った住民のための診療を続けました。
3	しかし、高橋さんのその強い意志とは裏腹に、体は病魔にむしばまれていたようです。震災の 2 ヶ月後、医師である高橋さんに大腸ガンが見つかり「余命半年」という宣告を受けたのです。
4	自分の病状がわかってしまう医師が、こういう病気になること自体、たいへん苦しいことだったと思うのですが、高橋さんは「子育てのできる南相馬に、そして日本の復興のため、まだまだやり残したことがある」と、自らの病魔と

5	<p>戦いながら鉄のような意志で医療の現場に立ち続けられました。</p> <p>結果として、ついに入院を余儀なくされる昨年 12 月まで、ガン宣告から 1 年 7 ヶ月に亘って被災地の医療を支え続けた高橋さんには、平成 24 年度「産科医療功労者厚生労働大臣表彰*」が授与されました。</p>
6	<p>しかし先月 22 日の授賞式に高橋さんの姿はありませんでした。同じ日の午後、愛してやまない南相馬市内の病院で、医師高橋亨平さんは 74 歳のその生涯を終えたのです。</p> <p style="text-align: center;">*****</p>
7	<p>「幹部の十箇条」の第 3 条**に「仕事については一流であり、仕事観、使命感、人生観を確立していること」という一文がありますが、高橋さんの姿はまさにこのお手本のような姿だと思います。だからこそ、震災という大災害や自身の病、死というものに真っ向から立ち向かって行けたのだと思います。</p>
8	<p>そして最後まで負けなかった。たとえ高橋さんの命は尽きても、その生き方に多くの医療関係者が共感し、あとに続こうとしていることを知ると、高橋さんはやはり、最後まで負けなかったのだと確信できるのです。心からご冥福をお祈りしながら私達もこの高橋医師の生き方に学びたいものだと、しみじみと思います。</p> <p>-----</p> <p>*Minister's Award for Reproductive Care Physicians for Their Service **このブログの著者、中川さんは社員教育や研修を行う会社を経営している。これは、会社の幹部が知っておかなければならない大切な 10 の考え方が書かれたものである。 From Masami Nakagawa, "Winning Shot," http://mnws.exblog.jp/18591853/</p>

1.1. 下の文を話の順番に並べ替えてください。

- (1) 高橋さんは、南相馬市に住むベテランの産婦人科医だった。
- () 高橋さんは自分がガンだということを知った。
- () 高橋さんは南相馬市の病院で亡くなった。
- () 立派な仕事をしたので、表彰^{ひょうしょう}されることになった。
- () 震災の後、南相馬市に残って、住民を助けた。
- () 自分が病気なのに、他の患者のために医師として働いた。

- 1.2. 順番をつけた上の6つの文を、「そして」、「その結果」、「しかし」などの必要な言葉を使ってつなぎ、この話のあらすじを書いてください。他に大切な情報が読み取れれば、その情報も入れてもかまいませんが、なるべく短く、簡単に、分かりやすくまとめてください。

2. 今度はもう一度くわしく読んでいきますが、その前に、次のビデオを家で見てください。（時間があればクラスで見ます。）全部分からなくてもかまいません。「3.11を忘れない(20) 闘う先生」http://www.dailymotion.com/video/xpo49n_20120327-3-11-を忘れない-21-闘う先生_news#.Uc-Ha08363c (約25分)
 - 2.1. 段落1を読んでください。
 - 2.1.1. 高橋医師がなくなったのはいつでしたか。

 - 2.1.2. 高橋医師の専門は何でしたか。

 - 2.1.3. 「ベテラン医師」と言うのは、どういう意味ですか。「ベテラン」は英語の意味と同じでしょうか。どうしてそう思いますか。

 - 2.2. 段落2を読んで、グループで話し合ってください。
 - 2.2.1. 震災後、南相馬市から「多くの医師がいなくなった」と書いてありますが、どうしていなくなったのでしょうか。

 - 2.2.2. 高橋さんはどうしましたか。

 - 2.2.3. 「地元」というのは何でしょうか。
 - a. その人が住んでいる土地
 - b. その人が持っている土地
 - c. その人が被災した土地
 - d. その人が好きな土地

 - 2.2.4. 高橋さんはどこで診療を続けましたか。

 - 2.2.5. 高橋さんは産婦人科医でしたが、南相馬市には産婦人科の仕事が多くあったと思いますか。どうしてそう思いますか。

2.2.6. 高橋さんは、南相馬市に残って、どのような医療を^{おこな}行ったのでしょうか。

2.3. 段落3を読んでください。

2.3.1. 高橋さんに起こった問題は何でしたか。

2.3.2. それはいつでしたか。

2.3.3. 高橋さんは、いつ頃まで生きられると言われましたか。

2.3.4. 次の表現を別の日本語にしてください。

- a. 意志とは裏腹に ()
- b. 病魔にむしばまれる ()
- c. 余命半年 ()
- d. 宣告を受ける ()

2.4. 段落4を読んでください。

2.4.1. 高橋さんは病気になっても仕事を続けましたか、やめましたか。それは高橋さんにとってやさしいことだったと思いますか。どうしてそう思いますか。グループで話し合ってください。

2.4.2. 次の表現を別の日本語にしてください。

- a. 病魔と戦う ()
- b. 鉄のような意志 ()
- c. 医療の現場に立ち続ける ()

2.5. 段落5を読んでください。

2.5.1. 次の表現を別の日本語で言うとうどうなりますか。一つ選んでください。

- 1) 入院を余儀なくされる
 - a. 入院するより他に方法がない
 - b. それまで入院を続ける
 - c. それ以上入院しなくてもよくなる

- 2) 1年7ヶ月に亘って
 - a. わずか1年7ヶ月
 - b. 1年7ヶ月もの長い間
 - c. 1年7ヶ月ぐらい (1年7ヶ月ちょうどではない)

- 3) 医療を支え続ける
 - a. ずっと医療を行う
 - b. 医療のためのお金を払い続ける
 - c. 医療が大切なものだと認めてもらえるように言い続ける

2.5.2. 高橋さんはどうして「産科医療功労者厚生労働大臣表彰」をもらうことになりましたか。

2.5.3. 高橋さんはいつまで仕事を続けましたか。

2.6. 段落6を読んでください。

2.6.1. 次の表現を別の日本語にしてください。

- a. 姿はなかった ()
- b. 愛してやまない ()
- c. 生涯を終えた ()

2.6.2. 高橋さんは授賞式に出席しましたか。なぜですか。

2.6.3. 授賞式はどこでしたか。

3. 段落1から6をもう一度読んでください。そしてグループで話し合っ、次の質問に答えてください。

3.1. 高橋さんは、「やり残したことがある、自分のやれることをやらなければ」(段落2)、「子育てのできる南相馬に、そして日本の復興のため、まだまだやり残したことがある」(段落4)と言っていました。

3.1.1. 高橋さんの「やり残したこと」というのは何でしょうか。

3.1.2. 「自分のやれること」というのは何でしょうか。

- 3.2. 「子育てのできる南相馬に」と高橋さんは言っていましたが、「子育てのできる場所」とはどんなところでしょうか。震災後の南相馬市は子育てができる場所だったのでしょうか。この読み物には書いてありませんが、グループで話し合ってください。
- 3.3. この読み物には書いてありませんが、高橋さんは診療だけではなく、南相馬の放射線の除去（放射線をとりのぞくこと）にも力を尽くしていました。また、「女性と子供がいない町は未来がない」と言っていたそうです。このことから、高橋さんが何を望んでいたかを考えてください。
- 3.4. 高橋さんは、南相馬のことをどう思っているのでしょうか。それはなぜでしょうか。また、なぜそれが分かりますか。

★4 は、できる人だけしてください。難しすぎると思う人はしなくてもかまいません。

4. 段落7と8を読みます。

4.1. 語彙の意味を考えましょう。

4.1.1. 次の言葉の中で、知らないものの意味を考えてください。分からないものは辞書で調べてください。

- a. 一流
- b. 仕事観
- c. 使命感
- d. 人生観
- e. 確立する

4.1.2. 「仕事観」「人生観」の「かん」は「観」という漢字ですが、「使命感」の「かん」は「感」という漢字です。この2つはどのように意味が違いますか。

4.2. 2つの段落をざっと読んでください。この部分に書かれていることは誰の考えですか。また、著者がここで一番言いたいことは何でしょうか。

4.3. この2つの段落をもう一度読んでください。そして、次の言葉の意味を文中から推測して別の言葉で言い換えてください。日本語でどうしても言えない場合は、英語でもかまいません。その後、分からなければ読み方を調べてください。

- 1) 手本
- 2) 真っ向から
- 3) 共感する
- 4) 命が尽きる
- 5) 冥福を祈る

4.4. ここからはグループで話し合い、答えを簡単な文で書いてください。

4.4.1. 「高橋さんの姿はまさにこのお手本のような姿だ」と書かれていますが、高橋さんのどんな姿が、何のお手本のような姿なのでしょう。

4.4.2. 「だからこそ、... 真っ向から立ち向かって行けたのだ」と書かれていますが、「だから」は何を指しますか。

4.4.3. 「そして最後まで負けなかった」と書かれていますが、高橋さんは何に負けなかったのでしょうか。

4.4.4. この文は「です・ます体」で書かれていますが、「そして最後まで負けなかった」の部分だけは普通体で書かれています。一つの文章に両方のスタイルを用いることは、普通はしない方がいいのですが、この場合は理由があって普通体が使われています。それはどんな理由だと思いますか。（ヒント：普通体を使うことによって、どのような効果が表れていますか。）

4.4.5. 「その生き方に多くの医療関係者が共感し、あとに続こうとしている」と書かれていますが「後続く」というのは実際には何をすることだと思いますか。

4.4.6. 「私達もこの高橋医師の生き方に学びたい」と書かれていますが、「この高橋医師の生き方」というのはどのような生き方でしょうか。また、これを書いた中川さんは高橋医師から何を「学びたい」のでしょうか。

4.4.7. これを書いた中川さんはどのような人だと思いますか。また、なぜそう思いますか。

5. 言語学習

5.1. 漢字／語彙：次の漢字に読みがなをつけてください。読み物の中で、その語を使った文を探して書いてください。指示された漢字は書き方も覚えてください。

読みがな	文
いし 医師	取り上げた赤ちゃんは1万人を超えるというベテラン医師でした。
意志	
超える	
診療	
地元	
住民	
余命	
宣告（する）	
病状	
現場	
授与（する）	
姿	
生涯	

5.2. 文法／表現：この読み物の中に出てきた表現を使った文を探して書いてください。書ける人は自分の例も書いてください。

	意味	文中の例	自分の例
～残す	終わらないままに しておく		

～続ける	いつまでもつづけてする		
～にわたって	ある程度や範囲、時間に及ぶ		
～とは裏腹に	本当はそうあってほしくないと思うようす		本心とは裏腹に____ _____ _____
～を余儀なくされる	他に方法がなく、したくなくてもそうしなくてはならない		
～してやまない	～しないではいられない		_____ _____成功を願ってやまない。
まさに～のようだ (段落 7)	ちょうど～みたいだ		

III. 読んだ後で

高橋医師についてのビデオ「生まれ来る子ども達のために」 (約 46 分)

http://www.dailymotion.com/video/xs6joy_20120715-yyyyyyyyyyyyyy-yyyy_news#.UdC39E8hQmC または 「「3.11 を忘れない (20) 闘う先生」

http://www.dailymotion.com/video/xpo49n_20120327-3-11-を忘れない-21-闘う先生_news#.Uc-Ha08363c」

を見てください。2つ目のビデオを前に見た人は、もう一度見てもいいです。(宿題)

1. 読み物と同じ内容がつかめましたか。読み物にはなかったけれど、このビデオから分かったことにはどんなことがありましたか。グループで話し合ってください。
2. 高橋さんのふるさと、南相馬に対する思いを 300 字から 400 字ぐらいにまとめてください。高橋さんの思いだけではなく、それが分かる理由を必ず述べてください。(宿題)

パート2 中国から帰ってきた研修生

I. 見る前に

1. 日本には「外国人技能実習制度」と呼ばれるシステムがあります。このシステムを通して来日し、働いている人々を外国人研修生と呼びます。日本語で読める人は http://www.jitco.or.jp/system/seido_enkakuhaikai.html や <http://kotobank.jp/word/外国人研修・技能実習制度>, www.jitco.or.jp/about/data/statistics/statistics-result.pdf を、日本語だと難しい人は <http://www.jitco.or.jp/english/overview/index.html> のウェブサイトを読んで、この研修制度について以下の表をまとめてください。

目的	
参加出来る国	
期間	
受け入れ団体の種類	

2. 自分が犠牲になって他の人を助けた人の話を聞いたことがありますか。それはどんな話でしたか。グループで話し合ってください。
3. ユニット1(東日本大震災)で太平洋沿岸の町や村を襲った津波のビデオを見ました。その映像を思い出すか、またはもう一度見て、この津波の破壊力について話し合ってください。

II. 見てみよう：ここでは、短いビデオを4本見ます。

1. 最初のビデオを見てください。 http://www.youtube.com/watch?v=q2o8EreMz_8 (中国語なので、中国語の分かる人は、クラスメートに教えてあげてください。)
 - 1.1. この女性が話している佐藤充さんという人とこの人はどんな関係があると思いますか。
 - 1.2. 赤い○で囲まれた男の人が水のそばに立っているシーンがあります。この人は誰ですか。

1.3. ビデオをもう一度よく見てください。そして、日本語の言葉をよく聞いて、次の文が正しいかどうか考えて、正しいものに○をつけてください。

- a. () 20 人の中国女性は全員助かった。
- b. () 佐藤さんはこの女性達を高いところに連れていった。
- c. () 神社は安全なところだった。
- d. () 佐藤さんは無事に帰ってきた。
- e. () この女性達は佐藤さんに感謝している。

2. 先ほどのビデオで中国女性たちを助けた佐藤充さんは、宮城県の女川町おながわちょうにある水産会社の専務せんむをしていました。15 メートルの津波が女川町をおそった時、佐藤さんは、まず、中国から来ていた、まだ日本語のあまり分からない 20 人の研修生を高台たかだいにある神社に避難させました。そして、研修生の安全を確かめてから、家族や会社の他の人々を助けるために工場にもどったのですが、研修生の目の前で、またおそってきた津波にのみこまれて亡くなってしまいました。佐藤さんは、自分を犠牲にして研修生たちの命を救ったのです。

これから「国境を越えて救った命」というビデオを見ます。

http://www.youtube.com/watch?v=dXDY_peSkaw

- 2.1. まず、ざっと見てください。インタビューされている男の人は誰ですか。女の人は誰ですか。
- 2.2. もう一度ビデオを見ましょう。今度は、2 人が言っていることだけでなく、書いてあることにも注意して見てください。そして、次の文の_____のところに適切な言葉を入れてください。よく分からない場合は、もう一度見てもかまいません。
 - a. 津波が来た時、佐藤さんの会社は_____。
 - b. 佐藤さんのお兄さんは、最初、佐藤さんがなくなったと思って_____。それは佐藤さんが神社に_____と_____と思っていたからだ。
 - c. 地震が来た時、佐藤さんはすぐ寮に来て、_____。
 - d. 佐藤さんは研修生を_____。
- 2.3. もう一度ビデオを見てください。分からなければ何度見てもかまいません。グループで次のことについて話し合ってください。
 - 2.3.1. 佐藤さんが自分を犠牲にして中国人研修生を助けたことは、中国ではどのように評価されましたか。

2.3.2. 佐藤さんのお兄さんはそのことをどう思っていますか。

2.3.3. 研修生達はそのことをどう思っていると思いますか。

2.3.4. みなさんはそのことをどう思いますか。

3. これからビデオを二本見ます。どちらもよく似た内容です。

<ビデオ 1> <http://www.youtube.com/watch?v=oqSH161fGug>

<ビデオ 2> <http://www.youtube.com/watch?v=FoJB4XeyEh8>

3.1. まず、2本のビデオを続けて一度見てください。

3.1.1. 次の文はビデオに含まれている内容です。その内容が聞き取れたら、または読めたら、() にチェックマークをつけてください。

<ビデオ 1>

- a. () 震災後、中国に帰っていた研修生が日本にもどってきた。
- b. () 中国人研修生は東北の水産加工工場働くためにもどってきた。
- c. () 親は日本にもどるのに反対したが、それでも研修生はもどってきた。
- d. () 佐藤充さんに助けられた研修生は5人、日本にもどってきた。
- e. () 佐藤さんに助けられた研修生は、また佐藤さんの会社でも働きたいと言った。

<ビデオ 2>

- a. () 研修生達は、中国から11ヶ月ぶりに日本に来た。
- b. () 受け入れ先の女川町の人達が研修生を迎えにきた。
- c. () 5人の研修生は、いつも佐藤充さんのことを考えていた。
- d. () ある研修生は、日本の復興を手伝いたいと言っていた。
- e. () 女川町の人々は研修生がもどってきてくれて喜んでる。

- 3.1.2. ビデオをもう一度見て、 _____ に適切な言葉を入れ、2本のビデオの内容をまとめてください。

東日本大震災の後、中国に _____ 研修生が、東北の被災地でまた _____
_____ ために、日本に _____。その中には、佐藤充さんが避難させて助けた
研修生も _____ 人、 _____。

- 3.2. 2本のビデオをもう一度見てください。そして次の質問について、グループで話し合ってください。分からない場合は、何度見てもかまいません。

3.2.1. この研修生達はなぜ東北地方に帰ってきたいと思ったのでしょうか。

3.2.2. 女川町の人々は研修生が帰ってきたことをどう思っているのでしょうか。

3.2.3. 佐藤充さんに命を救われた研修生は全員帰ってきたわけではありません。帰ってこなかった研修生達は、なぜ帰ってこなかったと思いますか。

3.2.4. 研修生達の家族は、彼女たちが日本に帰ってくることに賛成していたと思いますか。なぜそう思いますか。

3.2.5. 研修生達はなぜ家族の反対を振り切ってまで、女川町に帰ってきたのでしょうか。この研修生にとって女川町はどのようなところなのでしょうか。

3.3. 外国人研修生と受け入れ先の人々との関係は、うまくいっているケースや、問題のあるケースなどいろいろありますが、中国人研修生と女川町の人々の心のつながりはどのようなものだったと思いますか。またどうしてそう思いますか。グループで話し合ったことも考えながら、300字から400字で、自分の考えをまとめて書いてください。

4. 言語学習

- 4.1. 漢字／語彙：次の漢字に読みがなをつけて、意味を書いてください。英語でも日本語でもかまいません。ビデオの画面でその語を使った文を探して書いてください。指示された漢字は書き方も覚えてください。

読みがな	意味	言葉が入っていた文
研修生		
犠牲		
賞賛		
専務		
再び		
お墓参り		
微力		
故		

パート3 「まなびたい」に答えたい

I. 読む前に

- パート3では、「若草^{わかくさ}リボン^{ききん}基金^{ききん}」という団体^{だんたい}から、進学のための「奨学金^{しょうがくきん}」をもらった高校生が書いた、応募^{おうぼ}の作文を読みます。その前に少し準備をします。
 - 「奨学金」というのは何ですか。みなさんが知っている奨学金にはどんなタイプがありますか。
 - あなたは奨学金をもらったことがありますか。その奨学金に応募するためにどんなことをしましたか。
 - 奨学金はもらいたい人が誰でももらえるわけではありません。それでは、どんな人が奨学金をもらうことができるのでしょうか。話し合ってください。

2. 「若草リボン基金」の支給対象者(奨学金がもらえる人)は、岩手県沿岸被災地の高等学校3年生の進学希望者でした。その高校生達は、東日本大震災で養育者(親、又は親以外)が、亡くなったり、行方不明になったり、解雇されたりした(仕事がなくなった)ので進学が困難になった人たちでした。応募するためには、進学先を卒業した後、地元で仕事をする強い意志がある(「地元で就職・起業する強い気持ちがある」)ことという条件があります。みなさんが今高校3年生だとしたら、卒業後に地元で仕事をすることをどう思いますか。話し合ってください。

3. 読み物の中に出てくる語彙と漢字を見てみましょう。

3.1. ()のヒントから、意味を考えましょう。その後で、読み方や意味を調べましょう。

- a. 部活中： (部＝クラブ、活＝「活動」を短くしたもの) ＝
- b. 満足： (満＝みちる／一杯になる、足＝たりる／じゅうぶんである) ＝
- c. 一変： (一度に変わる) ＝
- d. 支援： (支＝ささえる、援＝たすける) ＝
- e. 部員： (部＝クラブ、員＝メンバー) ＝
- f. 再開： (再＝もう一度／また、開＝ひらく／あける) ＝
- g. 感動： (感＝気持ち、動＝うごく) ＝
- h. 恩返し： (恩＝他の人から与えられためぐみ、返＝かえすこと) ＝
- i. 広場： (広＝ひろい、場＝ところ) ＝
- j. 仮設住宅： (仮＝本当のものではない／一時的な、設＝作る、
住＝すむ、宅＝家/住む所)
- k. 必要不可欠： (必要＝絶対に要ること、不＝「否定」、可＝できる、
欠＝存在しないこと／ないこと)

3.2. 次の文を読んで、下線を引いた言葉の一番近い意味を考えてみましょう。

- 1) 毎日少しずつ勉強しておけば、余裕を持って試験を受けることができる。
 - a. あせらずゆっくりすること
 - b. お金が十分あること
 - c. 時計がいないこと
- 2) 勉強することは学生としての義務であると、昔よく言われた。
 - a. させてもらえること
 - b. しなくてはいけないこと
 - c. してはいけないこと

- 3) 勉強ばかりしても、社会に^{こうけん}貢献できるとは限らない。
 a. 良い結果をもたらすこと b. 使えること c. 買ってもらう
- 4) 人間として^{せいちょう}成長するには、学校ではできない勉強や経験も必要だ。
 a. お金持ちになること b. 社会で有名になること c. 育って大きくなること
- 5) 学校の勉強が^{ふたん}負担になるほどの部活はしない方がいい。
 a. やめることができないくらい好きなこと b. とても役に立つこと
 c. 重い荷物のように大変なこと
- 6) 数学の勉強は答を出すだけではなく、答を出す^{かてい}過程を理解することが大切だ。
 a. プロセス b. リミット c. カテゴリー d. 理由
- 7) 世の中で生きていく力をつけるためには、学校での勉強には^{げんかい}限界がある。
 a. 良い結果を出すこと b. こえることができないぎりぎりのところ、
 c. それ以上続けることができなくて終わること

3.3. 次の文の中に、当てはまる言葉を下の□から選んで入れてください。

- a. 一生懸命頑張れば、どんな_____も_____というのは本当だろうか。
- b. _____練習しても出来なくて、とても_____思いをした。しかし僕は_____のは嫌だった。
- c. _____言った一言が人の心を傷つけることも、救うこともある。また、それによって新しい希望が_____こともある。

^{くや} 悔しい	^{なにげ} 何気なく	^{せいいつぱい} 精一杯	^こ 乗り越えられる
	わく(湧く/沸く)	^{あきら} 諦める	^{かべ} 壁

3.4. 「故郷」という言葉には2つの読み方があります。調べてください。

II. 読んでみよう

1. 進学のための「奨学金」をもらった高校生が書いた、応募の作文を一つ読みます。まず一度ざっと読んでください。

段落	「まなびたい」に込めたい
	(1) 陸前高田市の高校生Aさん
1	三月十一日、いつも通り平和な朝がやってきた。しかし、起きてはならない事が起こってしまったのである。それは、部活中だった。強い地震の後、陸前高田市をのみ込む大きな黒い壁が襲ってきたのである。夢だったのではないかと疑ってしまう。
2	三月十一日、午後二時四十六分、「東日本大震災」と名付けられたこの信じられない出来事によって私の生活は一変した。電気も水もない生活が始まったのである。まるで昔にタイムスリップしたかのようで現実を受け止められずにいた。家も無くした。悔しい、悲しいという感情は全く無く、涙も出なかった。このような生活を乗り越えられたのも、私に生きる気力をくれたのも、奇跡的に全員無事であった家族という存在のおかげである。こんなにも家族のすばらしさを感じたのは初めてである。生きていることだけで満足であり、それ以上の欲は何もなかった。生きているのが一番の幸せだった。
3	こんな中、一番思い続けていたのが野球の事である。甲子園を目指し、一生懸命やってきた野球を神様にとりあげられた気がしてならなかった。家、野球道具、何もなくなった。野球をする余裕は少しもなかったが、それでも心のどこかに諦められない自分がいた。そんな自分を救ってくれたのが全国の皆さんからの温かい支援だった。野球ができるという感情が沸き、震災後初めて希望が見えた。そして、ずっと会えていなかった野球部員の仲間とも再会することができた。仲間と震災後初めて野球をした日を今でも覚えている。苦しかった事を思い出し、私は今、野球をしている。それだけで感動した。支援してくださった方々には、感謝という言葉では、おさまりきれない思いで一杯である。そして今度は、私が恩返しする番だと思っている。私一人の力には限界があるであろう。だからせめて、困っている人がいたならば助けたいと思っている。これが、精一杯の恩返しだと思う。
4	震災から時間がたち生活も落ち着いてきた。私は外で元気に遊ぶ子供達が減った事に気づいた。その原因は仮設住宅である。学校のグラウンド、公園や広場

<p>5 (5.1.) (5.2.)</p>	<p>には全て仮設住宅が建てられたのである。子供達が遊ぶ所は自然と家の中になってしまっている。子供達が成長していく過程で、遊ぶ事やスポーツをする事は必要不可欠である。子供達にとって暮らしやすい町作りが被災地には必要だと考えている。私の進学する理由はそこにある。大学に進学し、よりよい環境でスポーツを学び子供達にスポーツや体を動かす楽しさを伝えたいと考えている。</p> <p>また、野球が私に様々な事を教えてくれた。今度は、私が野球を通じて子供達に技術はもちろん、人間として大切な所を伝えたいと考えている。地元の復興、これが私の最大の目標である。そこで私は、地元の学校の体育の教員になりたいと考えている。子供達に体を動かすすばらしさを伝える事もでき、野球も教える事ができる。大学進学し、地元の復興に貢献できる人間になるために学習したいと考える。これからの被災地を支えていくのは私達なのである。私達が復興させるという強い思いがある。そして、次世代の子供達に伝えていく。これが、私達生き残った者がしていく義務だと考えている。私にとっての故郷は形としてはないのかもしれないが、子供達には故郷を作ってあげたい。安心して帰ってこれる場所を作ってあげたい。「地元の復興を手伝いたい」という子供達にスポーツを野球を通して伝えていきたいと強く思っている。</p> <p>進学にあたって両親に負担をかけてしまうのも現実的な問題である。進学して良いと言ってくれた両親に感謝し、進学を希望している。次世代に伝えていくためにもまず私が努力し、苦しい状況を乗り越えなければならない。将来、陸前高田市が一日でも早く復興できるよう、子供達の元気な姿を取り戻せるよう日々努力していくのである。そして、震災で亡くなってしまった方々の分まで力強く、たくましく生きていく。今、私が何げなく生きている今日は、もっと生きたかった誰かの明日かもしれないから。</p> <p style="text-align: right;">出典：「まなびたい」に応えたい 若草リボン基金 http://www.bgr311.net/thought/</p>
-------------------------------------	---

1.1. 次の文は、5つの段落のポイントをまとめたものです。本文の段落の順に番号をつけてください、

- a. (1) 野球の練習をしている時に、地震が起こった。
- b. () 将来、体育教師になり、子ども達を教え、地元の復興のために努力したい。
- c. () 家族のすばらしさを感じ、生きているだけで幸せだった。
- d. () 人々の支援のお陰で野球が出来るようになり、恩返しをしたいと思うようになった。
- e. () 外で遊ぶ子どもが減ったことに気がついた。

2. もう一度くわしく読みます。
- 2.1. 段落1を読んでください。
- 2.1.1. 「それ」が起こったとき、Aさんはどこで何をしていたでしょうか。
- 2.1.2. 「大きな黒い壁」というのは何ですか。
- 2.1.3. Aさんは、誰も予想していなかったこの日の出来事に大変なショックを受けました。それはどの言葉や文から分かりますか。下線をひいてください。
- 2.2. 段落2を読んでください。
- 2.2.1. 「この信じられない出来事によって私の生活は一変した」と書かれていますが、Aさんの生活はどのように「一変」したのですか。
- 2.2.2. Aさんの家族はどのような被害を受けましたか。
- 2.2.3. Aさんはそのような生活をどのように受け止めましたか。正しいものに○を、違うものに×をつけてください。
- a. () 現実を信じるができなかった。
- b. () とても悔しく、悲しかった。
- c. () 生きる気力をなくした。
- d. () 毎日泣いた。
- e. () 生きているから満足だった。
- f. () 欲しいものがたくさんあった。
- 2.2.4. どうしてAさんは「悔しい、悲しいという感情は全く無く、涙も出なかった」のでしょうか。話し合ってください。
- 2.2.5. 「こんなにも家族のすばらしさを感じたのは初めてである」とAさんは言っていますが、なぜそのように感じたのだと思いますか。話し合ってください。

- 2.3. 段落3を読んでください。
- 2.3.1. 「甲子園を目指す」というのはどういうことでしょうか。「甲子園」に関係のあるウェブサイトをいくつかを読んで、話し合ってください。
<http://ja.wikipedia.org/wiki/甲子園> (日本語)
<http://en.wikipedia.org/wiki/Koshien> (英語)
- 2.3.2. 震災の後、Aさんには野球をする余裕がありましたか。なぜそう思いますか。
- 2.3.3. Aさんは、はじめはそれをどう思っていましたか。
- 2.3.4. 「全国の皆さんからの暖かい支援」がAさんを救ったと書かれていますが、それは具体的にはどのような支援だと思いますか。
- 2.3.5. 「震災後初めての希望」とは何のことでしょうか。また、どうしてそのような希望が見えたのでしょうか。
- 2.3.6. 「それだけで感動した」と書かれていますが、「それ」とは何のことですか。
- 2.3.7. 「感謝という言葉ではおさまりきれない」を他の言葉で言ってください。
- 2.3.8. Aさんは「恩返し」をしたいと言っていますが、誰に何をしたいと思っているのでしょうか。
- 2.3.9. 「精一杯の恩返し」というのは、どのような恩返しでしょうか。

2.3.10. Aさんの気持ちの移り変わりを下に書き入れてください。

野球が出来なくなって _____ _____	→	_____ _____	→	_____ _____
------------------------------	---	----------------	---	----------------

2.4. 段落4を読んでください。

2.4.1. Aさんは外で遊ぶ子供が減ったことに気づいたと言いましたが、その理由は何だと言っていますか。

2.4.2. 仮設住宅はどのように子供達の遊び場をうばってしまったのでしょうか。

2.4.3. 「子供達が遊ぶところは自然と家の中になってしまっている」というのはどういう意味でしょうか。適切な意味を選んでください。

- a. () 子供達は自然の中と家の中の両方で遊ぶことができるようになった。
- b. () 公園や広場がなくなって、子供達が遊ぶところが家の中だけになった。
- c. () 子供達は家の中で遊ぶことのほうが好きになった。

2.4.4. Aさんは大学で何を勉強したいと思っているのでしょうか。また、それはどうしてでしょうか。

2.4.5. 「私の進学する理由はそこにある」とAさんは書いていますが、「そこ」は何を指しますか。

2.4.6. この段落に書いてある内容から考えて、Aさんは大学を卒業したらどんな仕事に就くと思いますか。

2.5. 段落5を2つに分けて読みます。まず最初の部分、「伝えていきたいと思っている」までを読んでください。

2.5.1. 野球がAさんに教えてくれた「様々な事」というのは何だと思いますか。

- 2.5.2. Aさんが野球を通じて子供達に教えたいたことは何ですか。2つ教えてください。
- 2.5.3. 「人間として大切な所」というのは何だと思いますか。
- 2.5.4. Aさんは地元の復興が自分の最大の目標であると言っていますが、Aさんにとって地元の復興とはどんなことでしょうか。
- 2.5.5. Aさんが就きたい職業は何ですか。また、どうしてその仕事をしたいと思っているのでしょうか。
- 2.5.6. Aさんは「これが、私達生き残った者がしていく義務だと考えている」と言っていますが、「これ」とは何でしょうか。
- 2.5.7. 「私にとっての故郷は形としてはないのかもしれない」というのはどういう意味ですか。
- 2.5.8. Aさんが子供達に作ってあげたい「故郷」はどんなところでしょうか。
- 2.5.9. 「子供達にスポーツを野球を通して伝える」について、正しい解釈を選んでください。答えは一つだけとは限りません。
- a. () 子供達にスポーツと野球を教える。
 - b. () 子供達のことを他の人に伝える。
 - c. () スポーツ（の素晴らしさ）について教えた。
 - d. () 野球がスポーツとして一番だということを伝えたい。
- 2.5.10. Aさんの心にある、スポーツと復興の関係は何だと思いますか。
- 2.5.11. この段落には「地元」という言葉と「故郷」という言葉が出てきます。この2つの違いは何だと思いますか。話し合ってください。

- 2.6. 段落5の後半を読んでください。
- 2.6.1. 「進学」の意味を考えてください。また、「進学に当たって」というのはどういう意味か考えてください。
- 2.6.2. Aさんの、進学に関する「現実的な問題」はどのようなことでしょうか。具体的に説明してください。
- 2.6.3. Aさんはなぜ両親に感謝すると言っているのでしょうか。くわしく説明してください。
- 2.6.4. Aさんは「現実的な問題」を解決するためにどんなことをしたと思いますか。考えてください。
- 2.6.5. Aさんがこれから努力していこうと決心していることを3つリストしてください。
- -
 -
- 2.6.6. 「私が何げなく生きている今日は、もっと生きたかった誰かの明日かもしれないから」という文には、Aさんのどんな気持ちが込められていますか。
3. 全文をもう一度読んでください。
- 3.1. あなたがこの奨学金の審査員だったら、この作文を読んでAさんに奨学金をあげたいと思いますか。それはなぜですか。理由をいくつか挙げ、一番大きな理由は何か述べてください。
- 3.2. Aさんのふるさと、陸前高田に対する思いを300字から400字ぐらいにまとめてください。Aさんの思いだけではなく、それが分かる理由を必ず述べてください。

4. 言語学習

- 4.1. 漢字／語彙：次の漢字に読みがなをつけ、意味を書いてください。そして、その言葉が入っていた読み物の文、または表現を書き出してください。指示された漢字は書き方も覚えてください。

読みがな	意味	言葉が入っていた文
満足		
一変		
支援		
部員		
再開		
感動		
恩返し		
広場		
必要不可欠		
余裕		
義務		
貢献		
成長		
負担		
過程		
限界		
壁		
何気（なく）		
精一杯		

乗り越える		
諦める		
進学		

III. 読んだ後で

1. Aさんの他にもこの奨学金を授与された高校生は何人かいました。これから2、3人のグループで、他の高校生が奨学金に申し込む時に書いた作文を一つずつ読みます。必ずグループの全員が読み物を読んでください。個人でオンライン辞書を使いながら読んでもいいですし、全員一緒に声を出しながら読んでもかまいません。また、100パーセント分からなくても、大体的内容がつかめればいいです。読んだ後、個人で表に内容を記入してください。（作文はこのユニットの最後にあります。）
2. 表に書き入れたらグループで答え合わせをしてください。色々な答えがあると思いますが、相談して、グループで一つの答えを書いてください。

この高校生の／が：	読み物の番号： 3 5 7 9 10 (○をつける)
将来の志望：就きたい仕事	
その仕事を志望することになったきっかけ、理由、または東日本大震災が与えた影響	
進路を決めるのに決定的な要素となったこと	
その仕事に就くために、または資格をえるために、必要なこと	
それが勉強できる学校、または、そのために勉強しなければならないこと(もし書いてあれば)	
将来自分の志望の仕事を通してのコミュニティーとのかかわり	
その他	

--	--

3. 一つのグループにつき 5、6 分で、それぞれの高校生について発表してください。聞いている人はメモをとってください。

4. 発表を聞いた後、グループで次の質問について話し合い、結果を発表してください。
 - 4.1. 読み物を書いた高校生達に共通していることは何ですか。

 - 4.2. 彼らにとって、「ふるさと」とはどういうものだと思いますか。また、ふるさとについて考えるようになった理由は何だったのでしょうか。

最後に

1. このユニットでは、3 つの資料を通して、人々のふるさとに対する感情を見てきました。これをもとにして、次の事柄をグループで話し合ってください。
 - 人々にとってふるさととは何なのか、どういう意味を持つのか、また人々はどのようにふるさと関わって生きていくのか。
 - 人にとって、ふるさとは必要なものだろうか。それはなぜか。

2. 1. のディスカッションをもとにして、自分にとってふるさととは何か、自分はどのようにふるさとと関わってきたか、これからどのようにふるさとと関わっていきたいかを作文に書いてください。長さは 600 字から 1200 字の間です。自分にはふるさとなさと感じる人は、まず自分にとってふるさととは何かを述べてください。それからなぜ自分にはふるさとなさと思うのか、ふるさとなければいいと思うか、新しいふるさとを作っていきたいと思うか、どんな所だったらいいと思うか、なぜそう思うかを書いてください。どちらの場合も、必ず例を挙げ、自分の意見を支持する理由を説明してください。

パート3のIII.1.で使う読み物

「まなびたい」に応えたい 若草リボン基金

<http://www.bgr311.net/thought/>

(3) 大船渡市の高校生 Cさん

私の夢は将来介護福祉士になり、福祉機関を利用する高齢者、あるいは身体や精神の障がいにより日常生活に支障がある方の一人ひとりが心から笑顔になるように支援することだ。そのために、進学して福祉の実践に必要とされる専門的な知識や技術を身につけたいと考えている。

私が福祉に興味を持つようになったのは、幼稚園や小学校の行事で地域の老人ホームを訪問した経験からだ。高齢者の方と共に食事をし、会話やレクリエーションをするなど、交流を重ねることでだんだんと職業として意識するようになった。さらに、中学校の職場体験で再び老人ホームを訪問し、初めて介護の仕事を体験した。実際の仕事は想像していたよりもはるかに大変なことばかりだった。普段は人と会話することが好きな自分が、その時はなかなか会話ができず、うまくコミュニケーションをとることができないことに、もどかしさも感じた。しかしこの時に、人とうまくコミュニケーションをとるにはどうしたらよいかを考え、同時に、人と人との繋がりや感謝される喜びを改めて感じた。私はこの職場体験で介護福祉士になりたいという想いをより一層強くした。

現在の日本は超高齢化が進み、介護にかかわらず福祉全体の需要が高まっている。その一方で、介護は肉体的にも精神的にも大変な仕事だと言われ、敬遠される状況にある。しかし、私はきつい仕事だからこそ相手に心から笑顔になってもらえるように介護することに、やりがいや魅力を感じられるのだと考える。

一昨年の津波の被害で大好きだった大船渡の町は以前とはすっかり姿を変えた。街灯が減り、特定の区画には灯りどころか建物すらなく、夕刻の大船渡は今までよりも寂しさに包まれているように見える。住み慣れた地を離れ、今まで築き上げてきた気が置けないコミュニティも崩れ、仮設住宅で孤独に暮らすお年寄りも多い。心に、町に寂しさを抱えながらも、私達も、そしてお年寄り達にも明るい笑顔を取り戻さなければならない。私の故郷、大船渡という町をこれまで作ってくれたのは地域のお年寄りだ。今まで大船渡を守ってくれた地域のお年寄りに対する感謝の気持ちには少しも変わりはない。だからこそ今度は私が介護福祉士になって地域のお年寄りへのサポートをする番なのだ。

そこで私は少人数体制で学べ、実習を通してさらに発展的な内容を身につけられる公立大学社会福祉学部福祉臨床学科への進学を希望する。

4年間の大学生活では、第一に他者を援助するにはどのようにすべきかについて考え、行動したい。第二に、演習・実習を通して生活支援技術を高めるだけでなく、生活支援を必要としている人の気持ちを体験し理解できるようになりたい。第三に、生活支援者一人ひとりの要望にできるだけ応えられるように、臨床福祉実践における一連の専門的な知識や技術を正確に習得したい。さらに、大学での学習や生活を通して、人として自分自身が大きく成長しなければならないと思っている。福祉を学び、福祉に携わるうえで、自らの理解の深まりや人間的な大きさが必要であると考えているからだ。

もう一つの私の夢は、最終的に大船渡に戻り、大船渡の福祉機関で働くことだ。そしてそこで出会う方達の、明るい笑顔を取り戻すために全力を尽くしたい。それらが小さな社会貢献となり、さらにみんなの笑顔が大船渡の復興の大きな力へと発展していくことを信じている。

これから学び、働いていく過程において、時には辛いことや逃げ出したくなる時もあるかもしれない。しかし、一度自分が決断した道なのだから、諦めるつもりはない。大学で習得する専門的な知識や技術を武器に、自信を持つことで最後までやり遂げることができると信じている。

(5) 宮古市の高校生 F さん

私は「進学すれば就職に有利だ」という単純な考えだけで進学校に入学しました。しかし、震災で被害に遭い、家計を考えると進学ではなく就職を選択すべきだとも考えるようになりました。そんな中、進学を勧めてきたのは母でした。とにかく早く就職すべきだとも考える私とは逆で、大学に入って多くの資格をとり、確実に就職し、様々な場面で活躍すべきだと母は私に言いました。考え方が変わり、進学を決意しました。

もちろん、進学するのは母に勧められたからだけでなく、夢があるからです。震災で多くのものを失いました。部活動で大きな怪我をしまい、大好きなバスケットすらも自分から消えかけました。ついにくじけそうになったときに立ち直らせてくれたのが「リハビリテーション」です。最初私は、リハビリをつらいものだとばかり思っていました。しかし、担当者との会話は楽しく、私の気持ちを理解した上で接してくれるので自然とリハビリにもやりがいを感じました。気がつくと、リハビリをしたいと思うようになっていました。この経験から、リハビリに携わる仕事をしたいと考えるようになりました。しかし、私は「作業療法士」と「理学療法士」の違いがよく分かりませんでした。そこで、地元にある病院の職場見学会に参加しました。それぞれの行うリハビリを間近で見ることができました。そして、お手玉をつかむ、豆をスプーンで別の器に移すなどといった、機械に頼らない作業療法士の治療法に魅力を感じました。機能回復を目指す患者に対しても無理をさせず、自然とその作業を習得させる場面にとっても感動しました。一見ただの世話をしており、「これのどこがリハビリなのか」と思う部分もありました。しかし、それは患者との会話を通じて趣味や日常生活を聞きだすことでその人のリハビリに対する意欲をかき

たてているようにも見えました。カウンセリングによりその人の精神や心理まで考えて行う治療法に、私はコミュニケーションの大切さを実感しました。このことは、これからの医療福祉に欠くことのできないものであると考え、作業療法士になる決心をしました。

私が目指しているのは医療福祉への道ですが、少子高齢化が深刻になっていく中、今後の医療ではその他の専門職との連携が必要になるはずです。そこで、私は実際の医療現場で求められる技術を学生のうちから身につけるために、大学進学を希望します。専門学校ではなく、大学を志望する理由は、高い国家試験合格率にあります。大学では四年間かけて作業療法士としての知識を学べますが、専門学校よりも一年長く学ぶという事も、合格率に影響しているのではないかと考えました。最先端の医療を学ぶことに期待をしています。また、時間が長い分、作業療法士としての知識のみではなく、社会人として必要な知識や振る舞いを学ぶ機会も多くあると思いました。

私は、震災で家、家族を失いましたが、それがきっかけで多くのボランティア団体の方々に出会い、周りの支えを感じました。震災の時に支えになっていた大好きなバスケットが消えかけましたが、それが「リハビリテーション」を知るきっかけになりました。私は多くのものを失いましたが、失った分、多くの人と出会い、多くのことを学びました。人との関わりの中で得るものは大きいと思います。大学でも講義や授業だけでなく、人と接し、学ぶことで成長していきたいです。

大学に合格し、国家試験に合格し、作業療法士になることができたなら、最終的には地元に戻ってきたいというのが私の望みです。私は現在、仮設住宅の集会所に作業療法士がボランティアに来ています。内容はマッサージやカウンセリングです。狭く、不便な仮設住宅で生活する人々にとっては必要なものです。マッサージのみなら理学療法士のもできますが、被災者ならではの悩みを専門的にカウンセリングできるのは作業療法士に限ると思います。

仮設集会所に来る作業療法士のマッサージをして、「気持ちよかった」と嬉しそうに帰ってくる母を見るのが私は好きです。そのため、私は被災地で多くの人を専門的に、さらに同じ被災者としても声をかけ、カウンセリングできる作業療法士になりたいです。私が作業療法士になることで母に気軽にマッサージ、ケアをしてあげたいです。

応援してくれる母がいて、心からなりたいと思える夢があり、戻ってきたい地元があり、力になりたい人がいる。これが私がどうしても進学したいという理由です。

(7) 陸前高田市の高校生 H さん

私は盛岡公務員法律専門学校に進学することを希望しています。

将来は消防士になって社会、そして地元の大船渡や陸前高田の町の復興に、若い力を発揮したいと思っています。少しでも復興の為に力になりたいですし、消防での仕事も一生

懸命に働き消火活動、防災業務などの為に訓練をして、地域を守っていけるような消防士になりたいです。消防職をまっとうして社会に貢献していきたいと考えています。

消防士をめざすきっかけになったのは、昨年の東日本大震災でした。もともと消防士になりたいと思う気持ちは少しはあったのですが、はっきり決められずにいました。そんな中で三月十一日に発生した東日本大震災に巻き込まれました。その時、野球の練習中だった私は、グラウンドが高台にあり、ぞくぞくと避難してくる人がいる中で、陸前高田の町を見ていました。中には町の人たちに避難を呼びかける消防士、消防団の姿がありました。地震発生から間もなくして、あんなに美しかった高田松原の海が大きな大きな黒い津波となって高田の町を襲いました。そこにいた全員が津波に怯え、啞然とした顔で、町を見つめていました。その場で、私の目に止まったものがありました。それは津波に飲み込まれる消防車の姿でした。それまで騒がしかった町が津波の到着とともに一瞬のうちに静まり返りました。その時の事を今でも鮮明に覚えています。あの時、陸前高田の町で、人を助けるために必死に避難を呼びかけ続けていた消防士、消防団の人たちの多くは命を失いました。高台で見ていて、胸が張り裂けそうでした。消防士の方々にも避難してほしいです。この震災をきっかけに、自分は消防士になり地元を守りたいと強く思うようになりました。もちろん、簡単になれることではないのは自分でもよく理解しています。しかし私は、人の命を救える、そして地元の人々から、愛される、頼られるような消防士になりたいと思っています。だから、必ず消防士になって、地元の復興の力になっていく覚悟です。

私は体力に自信があります。小学三年生から野球を始め、陸上大会やドッジボール大会、駅伝練習など、さまざまなスポーツに取り組んできました。特に、高校野球を三年間続け、一年の秋季大会から試合に出場し、二年生からレギュラーとして試合に出続けました。ときには挫折する時もありましたが、仲間に監督、コーチの方々の支えもあって、三年間、仲間と共に切磋琢磨して続けてきました。部員総勢八十人を超える大人数の中で、八十人の代表として試合に出せてもらいました。結果はいいものではありませんでしたが、この八十四人と共に練習できた事、また、出会えた事、一緒に泣いたこと笑いあったことなど、たくさんの思い出があります。自主練習では毎日のように夜 11 時まで練習しました。とても辛かったですが、目標に向かって邁進することができました。努力し続ける力も身についたと思います。部員が多かったので、多くの人とコミュニケーションをとる必要があり、どんな人とも誠実に話をするできるようになりました。消防士にとっても、仲間とのコミュニケーションは必ずとらなければいけないと思うので、コミュニケーション能力というのは大切だと思います。また、私の明るい性格も、今後の人生の中でも大きく役立つと思うので、生かしていきたいです。消防士にとって体力やコミュニケーション能力など必要な力だと思いますが、自分のこの能力を、ぜひ、消防士となって力を発揮したいです。

震災の次の日、家に帰る事ができました。家族に会うことができ安心しました。家もギリギリ助かりました。しかし、父の仕事場が流され、失業しました。震災後の生活は今までとは大きく異なったものでした。電気や水は使えないのはもちろん、車のガソリンも

なかなか手に入らないなど、生活するのが大変でした。そんな中で、父の失業は大きく影響しました。父は仕事を失ってから仕事を探し続けました。なかなか見つからなかったのですが、必死になって探しているのが私にも分かりました。正社員ではないが手伝いやバイトといった形で働いてくれていました。そんな苦しい時に親戚などがサポートしてくれた時は、とても助かりました。親戚や近所の人たち、繋がりのある人たちの親切さやありがたさを痛感し、大切にしていきたいと強く思いました。さまざまな事に感謝したいと思います。その後も経済的にも苦しい時は続きましたが、家族全員で協力して、助け合って生活しています。

以上のことから私は、地域の復興のためそして地元を活気づけて、消防士として支えていきたいです。経済的に苦しい状況にあるので、ぜひ若草会のご支援をお願いし、自分の夢をかなえたいと考え、希望いたしました。

(9) 陸前高田市の高校生 J さん

私は盛岡公務員法律専門学校に進学を希望しています。私がこの学校を志望した理由は公務員合格のパーセントがとても高く、少しでも早く社会人として働きたいと考えている私には最適の学校と思ったからです。また、勉強する設備も整っていて先生方の教えもとても分かりやすいとお聞きしたのでこの学校への進学を希望しました。将来は、地元の町役場へ入って私の町をもっともっと良くしていきたいと考えています。

私がなぜ公務員として住田町の役場に入りたいかという、一つは東日本大震災を経験したからです。陸前高田市と住田町は隣町にあって住田町は震災直後に最もすばやく動き出していたのを私は見ました。消防でもなく警察でもなく、町を良くしようと考えている人たちが一番はやく、また一生懸命になって働いていたのを覚えています。私も自分たちの町のためだけではなく、世のため人のために働きたいと望んでいます。また、私が夜遅くに散歩に出かけた時も、毎日のように残って仕事をしていてその仕事ぶりを見て私もここに入りたいと考えるようになりました。そして町役場の人たちはどの方も挨拶が明るくとても礼儀正しいと思えました。町役場の人たちはしっかりと、町のこれからのことを考えていて、素晴らしいと思えました。また、当然のことながら上下関係がしっかりしていて、町の行事などでは積極的に町民と解り合っていて一生懸命に活動していたのにも目をひかれました。私たちの町は、お年寄りが多くコミュニケーションが取りにくいと思われがちですが、町役場の人たちはとても親切で私も見習っていききたいと思っています。

私も、町役場の人たちのような親切で優しく、誰からも話しかけてもらえるような町職員になりたいです。将来は住田町をもっと良い街にして、「林業のまち」の住田としてさらに発展させていきたいです。

私は高校時代野球部に所属しており、部活動でたくさんの方のことを教わりました。野球部では団体行動の大切さと、時間を守るということを簡単なように思えるかもしれませんが、完璧に学びました。三年間プレーして、これといって目立った結果は残せませんでした。結果以上に人間的に大きく成長できたと思います。私が最も印象に残っている試合は

、私が一番最初に出場した大会です。結果は1対13で大敗でした。私はその試合で守備では何度もエラーをし、打っては全打席三振と全く良いところがありませんでした。私はその試合は絶対に一生忘れることはないと思います。その試合から私は誰にも負けたくない、人一倍の練習をしてきました。その結果、大会では一度も背番号一桁を譲ったことはありませんでしたし、練習試合で一度もBチームへ落ちたことはありません。また、現役の時84人の部員の中で誰にも負けたくないくらい一番練習していた自信があります。朝から夜は一番遅くまで、と負けた時から決めていたのでこの自分ルールを一度も破ったことはありません。そして、最後の大会は3対10のコールド負けでしたが、自分たちのベストの力は出すことができたと思います。自分たちが三年間やってきた野球に悔いはありません。最高の仲間たちとプレーできたことを、本当に誇りに思えます。最後に、いつも夜遅くまで練習して十一時くらいに眠いはずなのに迎えに来てくれた親に心から感謝したいです。

そして、私がなぜ早く親に恩返ししたいかというと、母の仕事の給料が減ったので私が早く社会人になって給料をもらいたいと考えています。私には、妹と弟の二人がいます。私は長男なので、これからの弟妹のことを考えると、私はやはり早く給料をもらわなければならないと考えています。父の給料だけではさすがにどうにもならないと思うし、母ももらっているといっても以前のようにはもらっていません。やはり、わたしも働かなければならないので、親にはあと二年たくさん苦勞をかけるかもしれないですが、二年後は必ず親孝行をしたいと考えています。

小学校三年生から始めてきた野球ですがおそらく今までで何十万円と、私にお金をかけてもらったと思っています。私は妹、弟と長男でもあるし、私が頼られる存在にならなければならないと考えています。本当に親にはあと二年お願いします、と伝えたいです。

以上のことから、私は将来を見据えて盛岡公務員法律専門学校への進学を希望しています。この学校は四年生ではなく二年生なので、弟妹が多い長男の私としては早く親孝行したい、とも考えているので、この学校で一生懸命勉強し、夢をかなえたいです。「夢、かなうまで挑戦」この言葉は私の好きな言葉で部活動でも大切にしてきました。この言葉の通りこれからも夢を追い続けていきたいと考えています。必ず実現させたいです。

経済的に大変な状況にあるので若草会のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(10) 陸前高田市の高校生 Kさん

私は、美容系の専門学校に進学したいと考えています。

最終的なことを言ってしまうと、美容師としての国家試験を合格して免許を持ちたいということです。それにあたり美容系に進学し国家試験にしっかりと望む勉強をしたいのです。たくさんの専門学校を調べました。その中で「行きたい。ここの専門学校で技術を磨きたい。」と強く思う専門学校を見つけました。在学中の生徒の姿も見学させていただき

その集中力と熱心さに私は見とれてしまいました。その専門学校で技術を磨き、知識を学びたいと本気で感じました。

そして、私は美容師になろうと心に決めたのは、東日本大震災がきっかけでした。3月11日震災、津波直後、水も使えず電気も使えない日々が続きました。たくさんの不幸が重なり、人一人一人の笑顔すら消えていく姿が見うけられました。物心がついている私もみんなで助け合って生きること必死でした。家をなくし、自分の私物など何一つとして残りませんでした。ですが、そんな私達家族を笑顔で一緒に暮らしてくれる親戚の方がいました。暗い顔など一つも見せませんでした。ここで初めて私は「感謝」の本当の意味を知ることが出来ました。月日が経ち仮設住宅に住んでからたくさんの支援をしていただきました。たくさんの大学生が来てお祭りを開催してくれたり、勉強を教えてくれたり、お花を植えて綺麗にしてくれたり。たくさんの笑顔と勇気を与えてくださいました。そして、私が美容師という仕事に憧れたのも笑顔がきっかけでした。被災直後の断水により水の使えない日々が続きました。どうすることのできない肌の手入れや神の手入。そこで立ち上がってくださったのは美容師の免許を持った大人でした。物資でいただいたハサミと櫛を使って一人一人の髪を切ってあげていました。切り終えた一人一人の笑顔はその人ではないかのように美しく、輝いて見えました。そんな美容の技術は、どんな時でも役立つのではないかと。そして、笑顔をたくさんたくさん作り上げることが出来るのではないかとその時、すごく夢を見ました。私自身も切ってもらいました。胸まであった髪は、お風呂にも入れず油でぬれていました。ですが、そんなことは何も気にせず美容師さんは切ってくださいました。切ってもらった後、私は暗い気持ちがなんだか明るくなったような気持ちになれました。こうやって人は、身にたくさんの感情をにじませながらうれしさを覚えていくんだなと感じるようになり、その嬉しいなどの明るい感情を与えられるような仕事に就きたいと思いました。そこで一番に思いつき、何よりも学びたいと思ったのは、震災後に見てあこがれた美容師でした。私が行きたいと考えている専門学校では一般の方をお招きしてふれ合う場をもうけているそうです。そのような機会を利用し、人とのふれ合い方や、人との接し方、そして何よりも笑顔の増やし方を学びたいです。あの震災から笑顔を作り出すことはそう簡単ではありません。そんな難しいことも自然とやってのける美容師になりたいです。ですが、私がどんなにあこがれ、本気で美容の道へ進みたいと思ってもお金はかかってしまうものです。「何とかする」という親の言葉に申し訳なく思うことが多々あります。母親はパートで夜、夜中まで働き、家事までこなしてくれています。父親は、がれきを重機で片付ける仕事を週6単位で働いてくれています。そんな重機の仕事には期間があり、あと約2年で終わってしまいます。震災から1年と半年以上経っても先の見通しがつかず悩みの日々を送っています。私は少しでも親に負担をかけたくありません。「何とかする」という両親の気持ちの裏には、きっとたくさんの不安があると思うんです。自営業の仕事も少しずつではありますが、再開し始めています。お店を開くにつれて多額の費用がかかることでしょう。ですが、お店を開くことが両親にとっては喜びであり楽しみであるのを子供の目から見てよくわかるんです。そんな親を見て、私は自分のことはすべて自分でやろうと決めました。この若草リボン基金を頂くことが出来たら、決して無駄にすることなく、夢実現と復興に向けたいと思います。